

Ⅲ 調 査 票

問3 家電製品の使い方について、節電に有効な取組は次のものがありますが、実施しているものはありますか。（○はいくつでも）

- ① 不要な照明はできるだけ消す
- ② エアコンの設定温度を夏は28度、冬は20度に設定する
- ③ エアコンのフィルターを定期的に清掃する
- ④ 冷蔵庫の庫内温度を夏は「中」に、冬は「弱」に設定する
- ⑤ テレビを省エネモードに設定するとともに、画面の輝度を下げる
- ⑥ 長期間使わない機器はコンセントからプラグを抜く
- ⑦ 照明器具はLED等省エネタイプに更新する
- ⑧ 部屋を片付けてから掃除機をかける
- ⑨ 便座保温は使わない時にはフタをしめる
- ⑩ 節電を実施していない
- ⑪ その他(具体的に: _____)

【参考】「信州省エネ大作戦」(さわやか信州省エネ大作戦2016・夏)に関する情報は、次のホームページアドレスでご覧いただけます。

○長野県 節電・省エネポータルサイト

<http://www.pref.nagano.lg.jp/ontai/kurashi/ondanka/setsuden/shoene/index.html>

【「自転車事故を補償する保険」について】

現在、長野県では自転車の安全利用の推進や自転車の更なる利用促進等を目的とした「長野県自転車条例（仮称）」の制定に向けた検討を行っています。

他県では、自転車事故により高額な損害賠償を求められる事案も発生しており、自転車の安全対策の推進が課題となっています。

つきましては、「自転車事故で加害者となった場合に損害賠償額を補償する保険」に関し、問4～6についてお伺いします。

問4 ご本人又は同居のご家族は、自転車を保有していますか。（○は1つ）

- ① 保有している
- ② 保有していない

問5 ご本人又は同居のご家族は、「自転車事故で加害者となった場合に損害賠償額を補償する保険」に加入していますか。次のうち該当するものを選んでください。（○は1つ）

- ① 加入している
- ② 加入していない
- ③ 分からない／確認できない

※参考

「自転車事故で加害者となった場合に損害賠償額を補償する保険」は、自転車保険という名称のものだけでなく、自動車保険、火災保険など身近な保険に特約などで付帯されているもの（個人賠償責任特約の中で自転車事故の加害者に適用されるもの）もありますので、それらも含めご確認をお願いします。

問6 問5で「加入している」と答えた方に伺います。ご本人又は同居のご家族が加入している保険は、次のうちどれですか。該当するものをすべて選んでください。（○はいくつでも）

- ① 「自転車保険」と名称に明記している保険
- ② 自動車保険、火災保険などの損害保険の中で、特約として加入
- ③ 点検・整備を受けた安全な自転車に付帯される「TSマーク付帯保険」
- ④ 小中高生が学校で加入するPTA保険
- ⑤ クレジットカードその他に付帯している上記①～④以外の付帯保険
- ⑥ 加入していることは確かだが、どのような保険であるかは分からない
- ⑦ その他(具体的に:)

【地域の防災活動への参加について】

長野県では、平成28年3月に長野県強靱化計画を策定しました。行政、企業、個人が一体となって「オール信州」で強靱化に取り組み、県民の皆様の生命・財産・暮らしを守ることを目的としており、「絆」で生命を守る地域防災力の充実を重点項目の一つとしています。

つきましては、地域防災力を充実させることに繋がる県民の皆様の防災活動への参加等に関し問7～10についてお伺いします。

問7 地域で実施されている防災活動（防災訓練、講習会等）に、ご本人又は同居のご家族の方が参加したことはありますか。（○は1つ）

- ① 積極的に参加している ⇒ 問8へ
- ② 参加したことがある ⇒ 問8へ
- ③ 参加したことはない ⇒ 問9へ

問8 問7で①又は②を選ばれた方にお伺いします。
どのような防災活動に参加していますか。（○はいくつでも）

- ① 自治会などの地域単位で行っている防災活動（防災訓練等）
- ② 有志による防災ボランティア活動
- ③ 行政等が実施する防災に関する講習会等
- ④ その他（具体的に： _____）

問9 問7で③を選ばれた方にお伺いします。
防災活動に参加しない理由は何故ですか。（○は1つ）

- ① 防災訓練や講習会等があることを知らなかった
- ② 参加したいが、仕事など他の用事を優先
- ③ 参加する方法が分からない
- ④ 防災に関心がない
- ⑤ 自治会などが実施していない

問10 地域の防災力を高めるために何が必要だと思いますか。（○はいくつでも）

- ① 住民個々の意識高揚
- ② 地域の交流や地域行事への参加
- ③ 若年層世代の参画
- ④ リーダーの育成
- ⑤ 資機材の整備
- ⑥ 行政による財政支援
- ⑦ 防災に関する講義や体験型講習会（ワークショップ）の実施
- ⑧ 地域の企業や専門家（大学等）との連携
- ⑨ インターネットやSNS（ソーシャルネットワーク）を使った情報発信
- ⑩ その他（具体的に： _____）

【人権に関する意識について】

長野県では、一人ひとりの人権が尊重される社会の実現を目指して、「長野県人権政策推進基本方針」に基づき施策を実施しております。

つきましては、人権に関する県民の皆様の意識などについて把握したいため、問11～12についてお伺いします。

問11 長野県は「人権を尊重する意識」が定着した住みよい県ですか。（○は1つ）

- ① そう思う ② 少しはそう思う ③ どちらともいえない ④ あまりそう思わない ⑤ そうは思わない

問12 長野県において、現在どのようなことから人権問題が起きていると思いますか。あてはまるものを選んでください。（○はいくつでも）

- ① 女性に関すること
- ② 子どもに関すること
- ③ 高齢者に関すること
- ④ 障がい者に関すること
- ⑤ 同和問題に関すること
- ⑥ アイヌの人々に関すること
- ⑦ 外国人に関すること
- ⑧ HIV感染者に関すること
- ⑨ ハンセン病患者・元患者等に関すること
- ⑩ 刑を終えて出所した人に関すること
- ⑪ 犯罪被害者等に関すること
- ⑫ インターネットによる人権侵害に関すること
- ⑬ 北朝鮮当局によって拉致された被害者等に関すること
- ⑭ ホームレスに関すること
- ⑮ 性的指向(同性愛、両性愛)に関すること
- ⑯ 性同一性障がい者(生物学的な性と心の性が一致しない者)に関すること
- ⑰ 人身取引(性的搾取、強制労働等を目的とした人身取引)に関すること
- ⑱ 中国帰国者(永住帰国した中国残留邦人等)に関すること
- ⑲ 死刑制度に関すること
- ⑳ プライバシー保護の問題に関すること
- ㉑ 東日本大震災に伴う人権侵害に関すること
- ㉒ その他(具体的に: _____)
- ㉓ 特にない

【県産農産物の認知度・購入意識・食生活について】

※問13～15の質問は、県産農産物の認知度や意識の変化を把握するため、以前実施したアンケート調査（平成24年度第1回（24年8月実施）、平成25年度第2回（25年6月実施）、平成26年度第1回（26年8月実施）平成27年度第2回（27年8月実施））と同内容となっています。

問13 長野県では、県産農産物の認知度向上を図り、独自ブランド食材の消費拡大に取り組んでいます。県の取組や制度、独自ブランド食材をご存知ですか。項目ごとにあてはまるものを選んでください。（○はそれぞれ1つずつ）

品目等		知っていますか			
		知っている	聞いたことがある	知らない	
◇県が取り組む認定制度について					
① 「おいしい信州ふード（風土）」（※１）		1	2	3	
② 長野県原産地呼称管理制度（※２）		1	2	3	
③ 「信州の伝統野菜」制度（※３）		1	2	3	
◇長野県の独自ブランド食材について					
①	原産地呼称管理制度	認定ワイン	1	2	3
②		認定日本酒	1	2	3
③		認定焼酎	1	2	3
④		認定シードル	1	2	3
⑤		認定米	1	2	3
⑥ 信州サーモン		1	2	3	
⑦ 信州黄金シャモ		1	2	3	
⑧ 信州プレミアム牛肉		1	2	3	
⑨ シナノスイート（りんご）		1	2	3	
⑩ シナノゴールド（りんご）		1	2	3	
⑪ 秋映（りんご）		1	2	3	
⑫ ナガノパープル（ぶどう）		1	2	3	
⑬ 南水（なし）		1	2	3	

※1 「おいしい信州ふード（風土）」

信州が育む多様な風土の中から生まれた食べ物全ての中から、3つの基準（「プレミアム（厳選素材・厳選基準）」、「オリジナル（独自ブランド・全国上位）」、「ヘリテイジ（伝統野菜・郷土食）」）で厳選した食べ物を、「おいしい信州ふード（風土）」と称し、長野県の統一ブランドとして発信・定着する取組を行っています。

※2 原産地呼称管理制度

長野県産の農産物と農産物加工品のうち、特に味と品質が優れたものを認定する制度。

- 認定基準 ①長野県産の原料を使い県内で生産され、
- ②一定の品質基準を満たし、
- ③官能審査に合格したもの。

○現在の対象は、ワイン、日本酒、焼酎、シードル、米（上記表の5品目）



※3 「信州の伝統野菜」制度

「信州の伝統野菜」の保存と伝承を計るため、品種特性や食文化を調査し、より多くの人に伝えるための制度。

- 選定基準 長野県内で栽培されている野菜のうち、「来歴」、「食文化」、「品種特性」の3項目について一定の基準を満たしたもの。



問14 日頃、農産物を購入する際に「長野県産又は地場産」を意識していますか。
項目ごとにあてはまるものを選んでください。（○はそれぞれ1つずつ）

品 目	常に意識して 購入している	時々意識して 購入している	意識していない	わからない
① 米	1	2	3	4
② 野菜	1	2	3	4
③ 果実	1	2	3	4
④ 食肉	1	2	3	4
⑤きのこ	1	2	3	4

問15 日常の食生活において、次の項目をどの程度実践していますか。
項目ごとにあてはまるものを選んでください。（○はそれぞれ1つずつ）

	ほ と ん ど い る	お お む て い る	あ ま り で き て い な い	ま つ た く て い な い
① 食事を楽しむ	1	2	3	4
② 主食、主菜、副菜を基本としたバランスのとれた食事	1	2	3	4
③ ごはんなどの穀類をしっかりとする	1	2	3	4
④ 家庭で料理をつくる際に地元農産物を利用する	1	2	3	4
⑤ 調理や保存を上手にして無駄や廃棄をなくす	1	2	3	4

【県職員の姿勢・行動について】

長野県では、平成24年3月に「行政・財政改革方針」を策定し、県民の皆様から信頼され、期待に応えられる県政の実現に向けて取り組んできました。
本年度は計画期間の最終年度にあたるため、新たな方針の検討を進めているところです。
つきましては、次の点についてお伺いします。

問16 県民の皆様の期待に応えるために、県職員はどのようなことを大切にして職務にあたるべきと考えますか。特に重要なものを3つ選んでください。

- ① 話を丁寧に聞き、県民の皆様のニーズを的確に把握すること
- ② 積極的に県政情報を発信すること
- ③ 市町村、企業、NPO等と連携・協働すること
- ④ 事業を実施すること自体を目的にするのではなく、成果を追及すること
- ⑤ コスト意識を持ち、効率的に仕事を行うこと
- ⑥ 前例にとらわれることなく、状況に応じて最適な対応をすること
- ⑦ 公平・公正に事務を行うこと
- ⑧ その他(具体的に: